

## 第253回役員会議事概要

日 時 令和元年5月17日(金) 14時46分～15時4分  
場 所 特別会議室  
出席者 山崎, 向, 柴田, 大竹, 氷見谷, 中沢, (村本), (石原)  
欠席者 福森

### 1 前回議事確認

第252回役員会(平成31年4月19日開催) [資料1]

### 2 協 議

#### (1) 設計製造技術研究所の設置

標記について, 議長から資料2に基づき説明があり, 審議の結果, 原案のとおり決定した。

#### (2) 平成31年度卓越大学院プログラムの確実な実施

標記について, 議長から資料3-1から3-6に基づき説明があり, 審議の結果, 原案のとおり決定し, 同プログラムの公募要領に定められた「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」に関し, 以下のとおり確認した。

- ・ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラムについて, 当該プログラムが採択された際には, 自然科学研究科, 医薬保健学総合研究科, 先進予防医学研究科及び新学術創成研究科の全専攻の参画の下, ニコンインステック, ファイザーR&D 合同会社, リコー, 富士フイルム和光純薬, オリンパス, ダイセル, 浜松ホトニクス, Imperial College London 及び University of British Columbia と連携して, 調書に記載の事項について確実に実施する。

- ・次世代の文化資源学を先導する卓越人材育成プログラムについて, 当該プログラムが採択された際には, 人間社会環境研究科, 自然科学研究科, 医薬保健学総合研究科及び新学術創成研究科の全専攻の参画の下, 東京大学, 北海道大学, 北京大学, 復旦大学, ウィーン大学, ジョンズ・ホプキンス大学, トゥールーズ第3大学, ダブリン大学, デルバジェ大学, 石川県, 金沢市, 輪島市, 国立民族学博物館, 東京文化財研究所, アジア太平洋無形文化遺産研究センター, セインズベリー日本藝術研究所, 凸版印刷, 大塚オーミ陶業, パレオ・ラボ及びアジア航測と連携して, 調書に記載の事項について確実に実施する。

#### (3) 職員懲戒規程に基づく懲戒処分再審査

標記について, 議長から回収資料に基づき説明があり, 審議の結果, 一部語句を修正の上, 決定した。